

事務事業名 筑紫駅西口土地区画整理事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：536

施策：	28	市街地の形成	財務コード	01070407-01-443
基本事業：	01	市街地の整備	担当部	建設部
基本事業の成果指標	土地区画整理事業等による整備面積（累計） 市街化区域における開発行為等による整備面積（計画期間内累計） 市街化区域における新規住宅着工件数（計画期間内累計）		担当課	区画整理課
			担当係	区画整理担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成09年度 ~ 令和05年度	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）	2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）					
筑紫駅西口を玄関口とした大字筑紫及び大字若江の各一部 地区面積：32.5ha 権利者数：土地559名、敷地権217名	土地区画整理事業により、西鉄天神大牟田線筑紫駅西口の駅前広場をはじめ都市計画道路、区画道路、公園、その他公共施設の整備や宅地の造成を行う。 名称：福岡広域都市計画事業筑紫駅西口土地区画整理事業 施行者：筑紫野市 地区面積：32.5ha 権利者数：土地559名、敷地権217名、全993筆（令和5年3月末日現在） 施行期間：平成9年度～令和5年度（令和10年度まで延伸手続き中） 総事業費：16,680,000千円 計画人口：2,600人 870戸（3人/戸） 平均減歩率：27.06%（公共減歩率22.79%、保留地減歩率4.26%） 関連事業：公共下水道事業、上水道事業、公園事業					
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	筑紫野市大字筑紫及び若江の各一部において、無秩序な市街化に対処するとともに、良好な市街地を形成する。					

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
使用収益開始の進捗率（累計）	%	92.59	100	100				100
区域内道路の整備進捗率（防災・秩序ある街区）	%	96.92	100	100				100

5. コスト								
事業費	計	千円	331,655	109,717	84,641	122,611		
	国	千円	92,775	27,023	0	0		
	県	千円	3,100	900	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	106,250	55,671	0	19,680		
	一般	千円	129,530	26,123	84,641	102,931		
正職員人工数	人工		7.8	6.7	5.7			
正職員人件費	千円		61,784	51,778	44,546			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		393,439	161,495	129,187	122,611		

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）	一部残っていた宅地造成工事が完了し、令和4年度末に使用収益開始率が100%に達した。また、道路の舗装工事も順調に進み、区域内全ての道路が供用開始となった。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）				
対象動向	維持	類似事業	なし	令和4年度をもって宅地造成及び道路築造工事が完了したため、令和5年度は換地処分へ向けた関係機関との協議や換地計画を策定していく作業を行うことになる。 なお、令和6年度以降は清算金の徴収交付事務を予定していることから、現在設定している成果指標を変更する必要がある。（事業期間を令和5年度から令和10年度までに変更認可手続き中）
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし	
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし	
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり	
成果向上余地	大きい			

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）	
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄

本地区は、小郡・筑紫野ニュータウンの第二期区域として、平成9年度に事業計画決定をした。平成16年度に事業費・施行期間の見直しを行ったが、地方交付税削減等による財政情勢の悪化から再度計画を見直し、土地活用制限の不満、公共下水道の早期整備、仮住まいの不安等などの課題により区域の縮小を行なった。	平成23年度の事業縮小に伴い、区域が半減したため区域内道路の整備進捗率の数値が大幅に大きくなった。区域内に出土した埋蔵文化財の調査作業を経て保存方針も決定したが、不測の期間を要し事業進捗に大きな影響が出た。また、隣接する筑紫公園区域内の埋蔵文化財の保存に伴い、事業計画等の変更が生じた。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事務事業名 筑紫地区まちづくり整備事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：1460

施策：	28	市街地の形成	財務コード	01070408-01-444
基本事業：	01	市街地の整備	担当部	建設部
基本事業の成果指標	土地区画整理事業等による整備面積（累計） 市街化区域における開発行為等による整備面積（計画期間内累計） 市街化区域における新規住宅着工件数（計画期間内累計）		担当課	区画整理課
			担当係	区画整理担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成22年度 ~ 令和05年度		新規・継続	継続	会計区分			実施計画																																																																																							
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）																																																																																												
筑紫駅西口土地区画整理事業の区域縮小に伴い除外地区となった区域			狭隘道路の拡幅や交差点の改良、公園整備などの「修復改善型まちづくり」整備事業を行う。 名称：まちづくり整備計画 区域面積：約29.3ha 筑紫小学校周辺地区、ヤクルト団地周辺地区、RKB団地側地区 施行期間：令和5年度まで 整備方針：道路拡張、交差点改良、公園整備、上下水道整備 手順：ワークショップ手法により、地元関係者とまちづくりのルールを構想・立案し作成した計画により、早期まちづくりを実現する。																																																																																												
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			4. 成果（簡易評価は未記入）																																																																																												
筑紫駅西口土地区画整理事業の事業計画見直しに伴い、事業除外地区となった区域の公共施設の改善を行い、良好な市街地環境を形成する。			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標名称</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>03年度</th> <th>04年度</th> <th>05年度</th> <th>06年度</th> <th>07年度</th> <th>08年度</th> <th rowspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>当初</th> <th>要求</th> <th>計画</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区域内道路の整備進捗率</td> <td>%</td> <td>77.3</td> <td>77.3</td> <td>85</td> <td>87</td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果指標名称	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	目標	実績	実績	当初	要求	計画	計画	区域内道路の整備進捗率	%	77.3	77.3	85	87			100																																																															
成果指標名称	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	目標																																																																																							
		実績	実績	当初	要求	計画	計画																																																																																								
区域内道路の整備進捗率	%	77.3	77.3	85	87			100																																																																																							
5. コスト			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th rowspan="2">計</th> <th rowspan="2">千円</th> <th>03年度</th> <th>04年度</th> <th>05年度</th> <th>06年度</th> <th>07年度</th> <th>08年度</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>当初</th> <th>要求</th> <th>計画</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>国</td> <td>千円</td> <td>12,483</td> <td>3,500</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>県</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般</td> <td>千円</td> <td>25,241</td> <td>20,546</td> <td>7,715</td> <td>377</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正職員人工数</td> <td></td> <td>人工</td> <td>1.2</td> <td>1.5</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正職員人件費</td> <td></td> <td>千円</td> <td>9,505</td> <td>11,592</td> <td>7,815</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(事業費+正職員人件費)</td> <td></td> <td>千円</td> <td>47,229</td> <td>35,638</td> <td>15,530</td> <td>377</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						事業費	計	千円	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	実績	実績	当初	要求	計画	計画		国	千円	12,483	3,500	0	0				県	千円	0	0	0	0				地方債	千円	0	0	0	0				その他	千円	0	0	0	0				一般	千円	25,241	20,546	7,715	377			正職員人工数		人工	1.2	1.5	1				正職員人件費		千円	9,505	11,592	7,815				トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	47,229	35,638	15,530	377		
事業費	計	千円	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度																																																																																							
			実績	実績	当初	要求	計画	計画																																																																																							
	国	千円	12,483	3,500	0	0																																																																																									
	県	千円	0	0	0	0																																																																																									
	地方債	千円	0	0	0	0																																																																																									
	その他	千円	0	0	0	0																																																																																									
	一般	千円	25,241	20,546	7,715	377																																																																																									
正職員人工数		人工	1.2	1.5	1																																																																																										
正職員人件費		千円	9,505	11,592	7,815																																																																																										
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	47,229	35,638	15,530	377																																																																																									
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）			<table border="1"> <tr> <td>あがっている</td> <td rowspan="3">ヤクルト団地入口の公園整備を実施したことにより、事業内で予定していた全ての公園整備が完了した。一方、道路整備では関係地権者の調整がつかず、整備計画を立てられない路線が残っている状態であり、息の長い取り組みが求められる。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえばあがっている</td> </tr> <tr> <td>あがっていない（停滞・低下）</td> </tr> </table>						あがっている	ヤクルト団地入口の公園整備を実施したことにより、事業内で予定していた全ての公園整備が完了した。一方、道路整備では関係地権者の調整がつかず、整備計画を立てられない路線が残っている状態であり、息の長い取り組みが求められる。	どちらかといえばあがっている	あがっていない（停滞・低下）																																																																																			
あがっている	ヤクルト団地入口の公園整備を実施したことにより、事業内で予定していた全ての公園整備が完了した。一方、道路整備では関係地権者の調整がつかず、整備計画を立てられない路線が残っている状態であり、息の長い取り組みが求められる。																																																																																														
どちらかといえばあがっている																																																																																															
あがっていない（停滞・低下）																																																																																															
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			<table border="1"> <tr> <td>対象動向</td> <td>維持</td> <td>類似事業</td> <td>なし</td> <td rowspan="5">筑紫駅西口土地区画整理事業の区域縮小に伴って開始された本事業であるが、息の長い取り組みが求められるため、事業継続に向け、所管課の調整が急務となる。</td> </tr> <tr> <td>手段効率化余地</td> <td>なし</td> <td>コスト削減余地</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>公的関与</td> <td>妥当性がある</td> <td>受益者負担</td> <td>余地なし</td> </tr> <tr> <td>上位貢献度</td> <td>影響度は大</td> <td>業務推進課題</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地</td> <td>大きい</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						対象動向	維持	類似事業	なし	筑紫駅西口土地区画整理事業の区域縮小に伴って開始された本事業であるが、息の長い取り組みが求められるため、事業継続に向け、所管課の調整が急務となる。	手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし	公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし	上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり	成果向上余地	大きい																																																																				
対象動向	維持	類似事業	なし	筑紫駅西口土地区画整理事業の区域縮小に伴って開始された本事業であるが、息の長い取り組みが求められるため、事業継続に向け、所管課の調整が急務となる。																																																																																											
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし																																																																																												
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし																																																																																												
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり																																																																																												
成果向上余地	大きい																																																																																														
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了																																																																																							
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）																																																																																															
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄																																																																																												
市の財政状況の悪化に加えて、長期に渡る事業期間がもたらす住民負担の軽減を図るために、平成24年2月に事業区域の縮小を行った。その結果、事業除外地区になったエリアについては「修復改善型」のまちづくりを行うこととなった。																																																																																															

事務事業名 区画整理地区外工事事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：1614

施 策：	28	市街地の形成	財務コード	--
基本事業：	01	市街地の整備	担当部	建設部
基本事業の 成果指標	土地区画整理事業等による整備面積（累計） 市街化区域における開発行為等による整備面積（計画期間内累計） 市街化区域における新規住宅着工件数（計画期間内累計）		担当課	区画整理課
			担当係	区画整理担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成23年度 ~ 令和05年度		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫駅西口土地区画整理事業区域周辺			事業区域に隣接する山林の湧水対策工事や切土工事、法面工事を行う。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
筑紫駅西口土地区画整理事業区域内の宅地との高低差の緩和及び日照条件の改善を図る。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
仮換地指定率		%	96.97	100	100				100
5. コスト									
事業費		計	千円	37,845	2,775				
		国	千円	0	0				
		県	千円	0	0				
		地方債	千円	0	0				
		その他	千円	0	0				
一般	千円	37,845	2,775						
正職員人工数		人工	0.5	0.3	0				
正職員人件費		千円	3,961	2,318	0				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	41,806	5,093	0				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		令和4年度をもって、筑紫駅西口土地区画整理事業地内に隣接する土地の法面工事が全て完了したため、事業終了となる。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	大きい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
区画整理事業の区域が既存山林に接していることや区域内に土地が戻ってくる住民からの要望に基づき、区域内の道路勾配や隣接する宅地間同士の高低差の緩和のために山林を切下げる必要が生じた。					備考・特記事項 or 進行管理欄				

施策：	28	市街地の形成	財務コード	01060105-01-405
基本事業：	02	計画的な土地利用の推進	担当部	建設部
基本事業の 成果指標	大規模業務用地整備面積（計画期間内累計）		担当課	都市計画課
			担当係	計画担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成27年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
企業			進出希望企業に対し、用途に基づいた紹介を行う。  進出企業に対しては、以下の優遇措置を適用する。 優遇措置 固定資産税の課税免除 事業所の新設等に併い取得又は移設した固定資産に対して課税する固定資産税について、操業の翌年度以後3年度分を課税免除します。 雇用促進補助金の交付 筑紫野市民を常時雇用した場合、一人あたり20万円（上限1,000万円）の補助金を交付します。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			企業からの相談件数 H30 16件 R1 8件 R2 12件 R3 26件 R4 21件						
適正な地域に企業が誘致される。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
5. コスト									
事業費		計	千円	6,604	3	4	217		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
		一般	千円	6,604	3	4	217		
正職員人工数		人工	0.7	0.2	0.3	0.7			
正職員人件費		千円	5,545	1,546	2,345				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	12,149	1,549	2,349	217			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている									
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は小	業務推進課題	なし						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）			効果的な企業誘致の施策を検討する必要がある。						
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						

施策：	28	市街地の形成	財務コード	01070401-04-427
基本事業：	03	適正利用への指導	担当部	建設部
基本事業の成果指標	開発行為等指導件数（計画期間内累計）		担当課	都市計画課
			担当係	計画担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
建築等施工予定者			建築基準法第6条に基づく建築確認申請書事務（調査報告書） 建築確認申請書受付 道路状況確認（敷地等と道路との関係） 用途地域確認 生活排水処理方法確認 調査報告書の作成 建築確認申請書渡し  建築確認申請時において、「筑紫野市建築行為等に係る後退道路用地に関する指導要綱」に基づき、用地の無償提供に協力する場合 後退道路用地に関する協議書の受理 登記業務指示 現地測量 境界立会 寄付申出書の受理 嘱託登記 登記完了通知発送						
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
建築を予定する敷地が属する用途地域や道路の種別・幅員、その他の制限を確認することにより、無秩序な建築等の防止や狭隘道路を改善することで、良好な街並みが形成される。									
4．成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度実績	04年度実績	05年度当初	06年度要求	07年度計画	08年度計画	目標
狭隘道路の改善箇所		箇所	2	7	7	7			
5．コスト									
事業費		計	千円	275	2,728	3,105	6,330		
		国	千円	137	1,552	1,552	3,164		
		県	千円	0		0	0		
		地方債	千円	0		0	0		
		その他	千円	0		0	0		
一般	千円	138	1,176	1,553	3,166				
正職員人工数		人工	0.4	0.6	0.5	0.5			
正職員人件費		千円	3,168	4,637	3,908				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	3,443	7,365	7,013	6,330			
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		道路幅員が4m未満の狭あい道路に面する宅地で建築行為等が行われる際、市が市民等に対し、セットバックに伴う測量及び登記・工作物の移転補償に係る費用等を補助することで狭あい道路整備が促進され、良好な市街地が形成される一助となっている。							
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）									
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
第7次総合計画において成果指標を設定する場合は、「セットバック件数」が適切と考える。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
特定行政庁である県や(財)福岡県建築住宅センターと建築基準法施行事務取扱交付金交付要綱又は委託契約による建築基準法に基づく調査事務の実施、或いは狭隘道路隣接地の無償提供に協力を求めるなどして、無秩序な建築等を防止し良好な市街地の形成を図る。			平成11年、建築基準適合判定資格者制度ができた。 平成20年3月31日、山家地区の1、2、3区を除く平坦部に準都市計画区域が指定されたことにより、建築確認申請事務が発生することとなった。 令和4年度評価から指標を「狭隘道路の改善箇所」に変更。						

事務事業名 筑紫公園整備事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：1171

施策：	28	市街地の形成	財務コード	01070404-06-438
基本事業：	04	公園の利用促進	担当部	建設部
基本事業の成果指標	公園に関する満足度 街区公園の管理を地元へ委託している割合 公園改修件数（計画期間内累計） 公園維持管理上の瑕疵による損害賠償件数		担当課	土木課
			担当係	土木整備担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成23年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
主に筑紫地区の住民			平成23年度 林地開発協議・事業認可申請 平成24年度 事業認可 平成25年度 用地買収 平成26年度 用地買収 平成27年度 用地買収、工事施工 平成28年度 用地買収、工事施工、事業変更認可 平成29年度 用地買収、工事施工 平成30年度 用地買収、工事施工 令和元年度 事業変更認可						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			令和元年度 ~ 文化財調査						
自然環境を生かした公園を整備し、近隣住民へ憩いの場を提供する。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
用地取得率		%							100
整備率		%							100
5. コスト									
事業費		計	千円	0	278		4,871		
		国	千円	0			0		
		県	千円	0			0		
		地方債	千円	0			0		
		その他	千円	0			0		
		一般	千円	0	278		4,871		
正職員人工数		人工			1	1			
正職員人件費		千円			7,815				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	0	278	7,815	4,871			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている		事業を一時休止している。							
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	隣接する筑紫駅西口土地区画整理事業地内において重要史跡が出土したことで、本公園予定地についても試掘だけにとどまらず、本調査になることから、事業期間の見直しを行った。 また、用地交渉が難航している箇所がある。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
文化財調査の期間及び保存区域の範囲により、公園整備計画を見直す必要がある。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄					
平成28年度に文化財本調査を行ったところ、重要史跡が出土したため、事業計画の調整を行う必要性が生じている。									

事務事業名 公園維持管理事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：496

施策：	28	市街地の形成	財務コード	01070102-04-413
基本事業：	04	公園の利用促進	担当部	建設部
基本事業の 成果指標	公園に関する満足度 街区公園の管理を地元へ委託している割合 公園改修件数（計画期間内累計） 公園維持管理上の瑕疵による損害賠償件数		担当課	維持管理課
			担当係	維持担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市内の都市公園 公園利用者			公園における、施設の維持補修 ・樹木剪定・消毒、草刈、清掃は、年間一括発注による委託で実施している。 148個所の街区公園、1個所の地区公園、8個所のその他の公園、7個所の緑地緑道においては、日常の清掃等の管理を地元住民に委託している。 (58団体) ・造園、遊具補修、照明、トイレ修繕は、要望を受け、委託にて随時対応している。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
安全で利用しやすい公園として適正に管理されている 身近な公園については市民が自ら管理する									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
5. コスト									
事業費		計	千円	125,653	136,710	148,894	163,175		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	441	296	296		
一般	千円	125,653	136,269	148,598	162,879				
正職員人工数		人工	1.5	1.5	1.5				
正職員人件費		千円	11,882	11,592	11,723				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	137,535	148,302	160,617	163,175			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている									
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向		類似事業							
手段効率化余地		コスト削減余地							
公的関与		受益者負担							
上位貢献度		業務推進課題							
成果向上余地									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了		
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
20数年前に、地元管理の機運が高まり、地元管理による公園の維持管理がなされてきた経緯があるが、近年では高齢化により地元で管理することが難しくなっている。 遊具の老朽化により全体的に遊具が劣化してきている			備考・特記事項 or 進行管理欄						

事務事業名 公園施設改修事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：1733

施策：	28	市街地の形成	財務コード	--
基本事業：	04	公園の利用促進	担当部	建設部
基本事業の 成果指標	公園に関する満足度 街区公園の管理を地元委託している割合 公園改修件数（計画期間内累計） 公園維持管理上の瑕疵による損害賠償件数		担当課	維持管理課
			担当係	維持担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成27年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
公園施設および、公園の利用者			公園における、施設の維持補修 優先度に応じて補修や予防的措置を行なう						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
安全で利用しやすい公園として適正に管理されている。 身近な公園については市民が自ら管理する。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
公園の維持管理に起因する事故件数		件	0	0	0				0
5. コスト									
事業費		計	千円	0	25,496				
		国	千円	0	0				
		県	千円	0	0				
		地方債	千円	0	0				
		その他	千円	0	0				
		一般	千円	0	25,496				
正職員人工数		人工	0	0.5	0				
正職員人件費		千円	0	3,864	0				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	0	29,360	0				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		経過年数とともに、老朽化が進み、事故のリスクが進んでしまう。 事故発生を抑えると同時に予防措置により施設の寿命をのばすことに努めた。 令和4年度に美咲公園の複合遊具修繕工事を実施した。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	あり	<課題> 公園施設は多数存在し、経年劣化を考慮する時期にあるため継続して更新していく必要がある					
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
公園施設は経年劣化を考慮する時期にある				備考・特記事項 or 進行管理欄					